

「健街道」矢倉沢往還道 第3回 ご案内 開成駅～矢倉沢バス停

歩行距離 約10Km

(実施年月日) 2019年 6月22日(土曜日)	(参加人員予定数) 参加人員 30名 スタッフ 6名	(参加費) 1名 / 1,000円 資料代・保険代・他	(運営スタッフ) 富岡秀二・目島公男・二瓶弘・二瓶雅代 小杉正雄・小杉真希子
--------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------	--

集合場所 小田急線・開成駅改札口にお越しく下さい。

スタート時間 AM10時00分 (受付は9時30分)

(行程内容)

9:30～10:00	開成駅で受付後スタート	
10:05～10:20	開成駅前公園でオリエンテーション	トイレ
10:45～11:20	宮台地藏經由竹松トイレ	トイレ
11:50～12:25	大雄山駅周辺で昼食	トイレ
13:25～13:35	関本宿	
13:55～14:05	南足柄市総合グランド・足柄道坂本駅駅舎跡	トイレ
14:35～14:40	足柄神社	
14:50～15:45	足柄古道を抜けて県道78号に合流	
15:50～15:55	矢倉沢関所跡(末光家)	
16:12～16:25	矢倉沢公民館前でクールダウン	トイレ
16:32～16:52	矢倉沢バス停乗車～関本バス停(大雄山駅)	
17:00～17:19	関本バス停～新松田駅(箱根登山バス)	

(見どころ)

- 宮台のお地藏さん : 立ち姿の木造で唐金色の着色。台座・光背を含めた全高114cm、左手に宝珠、右手に錫杖を持ち上品なお姿です。江戸時代には近くの本光寺地藏堂にあったが幾多の変遷で当地へ
- 関本宿 : 古代には坂本駅(さかもとのうまや)が置かれた処で、鎌倉時代に入って鎌倉幕府の新将軍として下向途中の宗尊親王が經由した場所として「関本宿」の地名が吾妻鏡に登場しており、この頃から関本のあったとみられる。江戸時代になると矢倉沢往還の宿駅と制定された。
- 白地藏尊 : 万治二年(1659)の地検帳にこの辺りが化粧坂として記されている事から、室町時代以前から祀られていたと推測される。
- 足柄神社 : かつて坂の神として足柄峠に祀られたとされる足柄明神が矢倉岳、更に現在の荻野に遷座し足柄明神社と呼ばれていた。昭和十四年に足柄神社に改称された。海上自衛隊イージス艦「あしがら」の艦内には足柄神社から分祀された天照大御神と日本武尊が祀られている。
- 旧矢倉沢宿 : 矢倉沢関所が置かれていた事から関場と呼ばれ数件の旅籠と米屋・豆腐屋・履き物屋等の商店が軒を連ねていた。現在は旧旅籠立花屋跡が残っている。
- 矢倉沢関所跡 : 末光家前庭に「矢倉沢関所跡碑」が建てられている。江戸時代に入り箱根の関所が整備されるとその脇関所として設置され小田原藩が管理していた。
- 矢倉沢裏関所跡 : 裏関所は矢倉沢本村から矢倉岳を越える裏道をおさえるための関所で、村民は通したが旅人は一切通さなかったという。

(中止の場合)

前日の夕刻に参加者に電話連絡いたします。
中止の振替日は8月24日(土)です

(服装・履物・持参品)

ハイキングの服装(雨天時の傘・レインコート)・歩きやすい靴
健康保険証・名札(緊急連絡先付)・お弁当・飲み物(お茶やコーヒー等のカフェイン含有飲料は避ける事)

※カフェインは利尿作用が有りトイレが近くなります(本行程はトイレ箇所が少ないのでご協力をお願いします)

(行程上のお願いと注意点)

- ★ 開成駅集合場所で参加費のお支払いをお願い致します。
- ★ 飲料水は多めに持って、のどが渇く前に定期的にとって下さい。
- ★ 道幅が狭い処では、車両の通行で危険です、スタッフの指示に必ず従って下さい。
又、トイレ箇所が少ないため指定された処で必ずお済ませ下さい。
- ★ 今行程の昼食場所は、大雄山駅周辺のお食事処で食べて頂きます。

お問い合わせ連絡先

富岡 秀二

e-mail : hideteru71166@yahoo.co.jp

TEL/FAX : 045-904-0230

携帯 : 090-9300-3562